

(企画挨拶)学生の研究発表にあたって

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-05-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 野原, 理子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/00031850

学生の研究発表にあたって

野原理子

東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター 女性医師・研究者支援部門 副部門長
東京女子医科大学衛生学公衆衛生学（一）教室 講師

本年も女性医師支援シンポジウムが開催されます。毎年、部門の支援を受けた女性研究者がその成果の発表をするとともに、女性医師・研究者、さらに本学学生が今後キャリア形成を行う上で、有用な機会となるように様々な企画を検討しています。

昨年からの試みとして、学生による研究発表を企画したところ、出席した同学年の学生から「刺激になった」「自分も将来発表を行うことが実感できた」など前向きな感想が多数寄せられました。ご来場の先生方からも学生たちのはつらつとした発表に好感をもっていただきました。

第3学年のカリキュラムの一環である研究プロジェクトでは12月の3週間、各自が興味を持った研究室に配属され、そこでそれぞれのご担当の先生方の研究に携わらせて頂きます。本シンポジウムでは、その際に学生が関与した研究について発表します。

各研究室の先生方にはカリキュラム期間のあとも、本研究発表にむけ継続してご指導、ご準備いただきました。大変ありがとうございました。

本シンポジウムでの発表者は学会と同様に希望する学生が自ら申込みをすることと致しましたところ、予想以上の学生が申込みをしてくださいました。そのため発表人数が多くなり各人の発表の時間が非常にタイトになっております。質疑の時間が限られてしまいますが、意欲ある学生の初めての本格的な研究発表をぜひあたたかく見守っていただければ幸いです。学生の皆さんも自分がその場に立って発表しているイメージで発表を聞いてみて下さい。数年後の自分の姿が想像できると思います。